

「薫風新都」みんなでつくる・笑顔あふれる小城市

市報 **まぎ**

2005

DEC

12

第10号



「西の浪花の復活祭」

「小城市ふるさとまつり」

特集

市長と語る会

2～3

人事給与	4～5
こんにちは！市役所です	6～16
小城市立歴史資料館・中林梧竹記念館だより	16
まちの話題	17
健康コーナー	18
暮らしの生活情報	19

在宅介護支援センターだより	20、21
小城市児童センターだより	22、23
小城市民図書館だより	24、25
公民館だより	26、27
情報いろいろ	28～29

「市長と語る会」が開催されました！



十月十四日～十一月八日にかけて市内八校区で、「市長と語る会」を開催しました。

よりよい市政を築いていくため、市民の皆さまからのご意見・ご提言など「生の声」を市長が直接お伺いしました。

全体で約五百名の皆さまが参加され、江里口市長の市政に関する説明に熱心に耳を傾けていただきました。

また、意見交換では参加した皆さまの活発なご意見などが出され、市長もそれに答えました。

江里口市長説明（概要）

県立病院の誘致について

九月二十七日に古川知事へ、小城市への県立病院移転についての要望書を議長と共に提出しましたが、要望のポイントは二点あります。一点目は利用者の利便性からみて地理的に県の中央であり、かつ、佐賀大学医学部、国立病院等との連携が取れる場所（十分圏内）。もう一点は、小城市のまちづくりを考えた時に、県立病院を核とした将来的に発展が可能なまちづくりができることなど。今後は、市民の皆さまと共にこの熱意を県に伝えながら誘致活動に頑張っていく予定です。

市庁舎の問題について

合併協議会のなかで合併後五年を目途に本庁方式へ移行することが確認されています。市民の皆さまには分庁方式でのご迷惑をかけておりますが、庁舎を造るだけではなく、庁舎が今後のまちづくりにどれだけのためになるのか、市役所

の位置付けや利活用について、複合的にしつかりと検討を行って行きます。例えば、市役所と県立病院との連携や市場（マーケット）の動向など種々の可能性を模索することが必要です。

総合計画について

合併してよかったと思えるまちづくりを行うため、柱づくりをしつかりと行うことが大事です。「まちづくり計画」＝「総合計画」を約一年かけてつくります。現在、その計画づくりがスタートしたところです。

市の予算について

小城市は百六十億円の予算規模になっていきます。その予算について、どのように使われているのかを分かりやすく説明した「知ってもらいたい小城市の予算」を作成しており、市の事業にどの位の予算が使われているかが、一目でわかるようになっていきます。

毎年、みなさんに税金がどのように使われているのか、しつかりとお伝えしていきます。

行財政改革について

現在、小城市行財政改革推進委員会を設置し、元アバンセ館長の稲田会長を中心に市の行財政の改革について議論を重ね、事務事業の合理化や民営化などの可能性を検討していただいています。市民の皆さまからは厳しいのではと言われるものがあるかもしれませんが、市全体のためには我慢が必要な部分もあります。財政悪化にならないよう計画的な行財政改革にしつかり取り組んでいきます。

通学区域の再編について

小城市立小学校及び中学校通学区域審議会のなかで様々な審議が行われ、教育委員会へ答申されました。これを受け、教育委員会で住民説明会等を実施し、最終検討の結果、三日月町の本告、甘木、土生、久米の四地区に住所のある者について来年の四月から学校を選択できることになりました。



市民からの質問（主なものを掲載）

Q 市長選挙の際、多岐にわたるマニフェストを発表しているが、一期四年のなかで何を重点的にやりたいのか。

A 最も力を注ぎたいことは、小城市の計画づくりです。現在、総合計画をはじめ様々な計画が審議されています。特に総合計画のなかでは、小城市まちづくりのゾーニングや基本構想を約一年かけてじっくり練り上げることによって、しっかりとした小城市の柱（計画）づくりを行っていきま

す。また、公約のふるさとづくりプランに掲げているなかで、本年度から実施しているものは、夏休みなどの長期休暇時に子どもの面倒を一日見てもらえる子育て支援などにも取り組んでおります。

Q 県立病院の誘致について。佐賀市が優位な状況のなかでどのような状態にあるのか。

A 県立病院の移転については佐賀市が第一候補であった経緯があり、優位であるのは事実であります。しかし、県民のための施設であるから、車社会を考

えて、渋滞する佐賀市よりも、少し離れた郊外の小城市あたりが一番理想的な場所であり、病院を中心とした「まち」としての拡張性もあります。そのためにも、県の考え方を方向転換させるためには、小城市が優位な条件を提示し、さらに、小城市民挙げて取り組みが必要で

す。市民の皆さんと一緒に考えていきます。

Q 市庁舎について。本庁方式はよいが、庁舎建設はできるのか。

A 五年を目標に本庁方式に移行することを合併協議会で申し合わせています。しかし、現在の分庁方式では、住民に不便な思いをさせていることをはじめ、市役所業務にも支障をきたして

います。早期に本庁方式へ移行しなければならぬと考えています。既

にその手法についての検討を庁舎内で行っており、来年度から市民の皆さまの意見を取り入れた検討委員会・審議会を立ち上げ、さまざまなシミュレーションを行って

いきます。ただ、本庁舎だけの単独での建設ではなく、小城市全体のまちづくりや、まちの発展にどうつながるかを充分議論し、例えば県立病院との複合性などを含め

て、多角的に検討していく必要があります。

Q イベントや市の補助金について。市になつてイベントは統合され、補助金はカットされるのか。

A マンネリ化したイベントや、予算消化事業であるイベントについてはなくしていきます。しかし、地域の皆さまが実行委員会をつくり、地域の活性化に繋がるイベントについては、なくす必要

はありません。基本的に本年度行っているイベントについては継続していきます。

また、市の補助金等については、全面的にカットではなく、必要であるものには交付し、そぐわないものについては見直しを図り、今年度の結果を踏まえたうえで地域の活力を低下させないように配慮し、必要性を吟味しながら行って

いきます。それから、老人クラブ等からご提言をいただいている敬老会の在り方や、補助金などについても検討していきます。

県立病院を小城市へ！

小城市と小城市議会は、去る九月二十七日に古川知事に対して、佐賀県立病院好生館を小城市内に移転されるよう要望書を提出しました。

この県立病院の誘致については、合併前の旧牛津町、及び旧小城郡四町で移転要望を行った経緯があります。今回、佐賀市が移転予定地の「どん3の森の市有地は提供しない」と県に回答したことから、再度要望を行ったものです。

小城市は、佐賀県のほぼ中央に位置し、JRが二本、更には、国道、県道が縦横に走っていること等から、県内のどこからも利用しやすく、県立病院としては最適地であると考えています。また、県立病院を小城市に誘致することによって、市民の健康を守るとともに、小城市のまちづくりの核ができ、大きな経済効果が期待できます。

このようなことから、十月二十一日には区長連絡協議会、地域婦人会、市内の産業関係者、医師会、歯科医師会、薬剤師会、有権者の方とともに「小城市県立病院誘致推進協議会」を発足させました。

県立病院の誘致につきましては、市民の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えておりますので、御理解と御支援をお願いいたします。

【問い合わせ先】
企画課 企画調整係（牛津庁舎）
担当 坂田・江頭
☎ 六三二八八〇三

人事行政の運営等の状況について（平成16年度）

小城市人事行政の運営等の状況に関する条例（平成17年小城市条例第192号）第4条の規定に基づく小城市における人事行政の運営等の状況について、その概要を次のとおり公表します。

これは、市民の皆様により市職員の任免や勤務時間その他の勤務条件などの情報を正しく知っていただくために公表するものです。

詳しくは、小城市ホームページ（<http://www.city.ogi.lg.jp/>）をご覧ください。

※1 平成17年3月1日に旧小城郡4町が合併して小城市が発足したことから、内容については旧小城郡4町の状況や小城市の状況（平成17年3月期）を適宜集計して作成しています。

※2 給与及び定員管理等に係るものについては、主に平成17年度のものであります。

1. 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 採用及び退職等の状況（平成16年度）

区 分	採用者数	退職者数
一般行政職	13人	16人
医療職	1人	2人
技能労務職	2人	5人
計	16人	23人

(2) 部門別職員数の状況（地方公共団体定員管理調査、各年4月1日現在）

区 分	職 員 数		対前年増減数
	16年	17年	
一般行政部門	299人	290人	△9人
特別行政部門	97人	95人	△2人
公営企業等会計部門	107人	101人	△6人
計	503人	486人	△17人

※職員数は一般職に属する職員数（教育長を含む）であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時又は非常勤職員を除いています。

(3) 定員適正化計画の数値目標及び進捗状況

合併により旧小城郡4町の計画が失効したため、現在策定に向け作業を進めています。

2. 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況（平成16年度普通会計決算見込）

住民基本台帳人口 (平成17年3月31日現在)	47,012人	※人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含みます。
歳出額	16,361,697千円	
実質収支	827,784千円	
人件費	3,683,686千円	
人件費率	22.5%	

(2) 職員給与費の状況（平成17年度一般会計当初予算）

職 員 数	394人	※1 職員手当には退職手当を含みません。 ※2 給与費は当初予算に計上された額（教育長を含む）です。
給 料	1,512,190千円	
職員手当	239,206千円	
期末・勤勉手当	591,530千円	
計	2,342,926千円	
1人当たり給与費	5,947千円/人	

(3) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況 (地方公務員給与実態調査、平成17年4月1日現在)

区 分	一般行政職	技能労務職
平均給料月額	321,567円	283,317円
平均給与月額	380,626円	299,171円
平均年齢	40歳11月	42歳9月

(4) 職員の初任給の状況（平成17年4月1日現在）

区 分	決定初任給	採用2年経過日給料額
一般行政職	大学卒	160,200円
	高校卒	138,800円
技能労務職	高校卒	145,500円

(5) 一般行政職の級別職員数の状況（平成17年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事補	5人	1.9%
2級	主事	39人	14.4%
3級	主事	28人	10.4%
4級	主査	37人	13.7%
5級	係長、主査	52人	19.3%
6級	課長補佐、係長、主査	52人	19.3%
7級	課長、参事、課長補佐	27人	10%
8級	課長、参事	25人	9.3%
9級	部長	5人	1.9%
計		270人	100%

- ※1 小城市職員の給与に関する条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
- ※2 「標準的な職務内容」とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。
- ※3 「構成比」の算出は、端数処理（四捨五入）しているため、必ずしも計とは一致しません。
- ※4 職員数は、平成17年度地方公務員給与実態調査による一般事務の職員（税務課職員を除く。）です。

(6) 職員手当の状況

① 期末・勤勉手当の状況（平成17年4月1日現在）

区分	支給月	期末手当	勤勉手当
支給割合	6月期	1.4月分	0.7月分
	12月期	1.6月分	0.7月分
	計	3.0月分	1.4月分
職制上の段階、職務の級等による加算措置 有			

② 退職手当の状況（平成17年4月1日現在）

区分	勤続期間	自己都合	勲奨・定年
支給率	勤続20年	21.0月分	27.3月分
	勤続25年	33.75月分	42.12月分
	勤続35年	47.5月分	59.28月分
	最高限度額	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置	定年前早期退職特別措置 (2~20%加算)		
1人当たり平均支給額	8,144千円	24,976千円	

※退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

③ その他の手当の状況(平成17年4月1日現在) (月額)

区分	内 容
扶養手当	配偶者：13,500円 配偶者以外：① 2人まで 1人につき6,000円 ② ①以外 1人につき5,000円 ③ 16～22歳までの間にある子 1人につき5,000円加算
住居手当	借家の場合：支給上限27,000円(家賃12,000円以下は支給なし) 持家の場合：2,500円(新築・購入の日から5年間)
通勤手当	通勤距離が2km以上の場合にかぎる 交通機関利用：支給上限55,000円(運賃相当額) 交通用具利用：距離に応じ2,000円～24,500円を支給

(7) 特別職の報酬等の状況(平成17年7月1日現在)

給料月額	市長	897,000円	※「委員長等」とは、常任委員長及び議会運営委員長です。
	助 役	717,000円	
	教 育 長	629,000円	
報酬月額	議 長	310,700円	
	副 議 長	257,700円	
	委員長等	244,000円	
期末手当	議 員	235,000円	
	三 役、 教 育 長 及び議員	6月期 1.6月分 12月期 1.7月分 計 3.3月分	

3. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間(平成17年3月1日現在)

1週間の正規の勤務時間	40時間
1日の正規の勤務時間	8時間
開始時刻	8時30分
終了時刻	17時15分
休憩時間	45分
休息時間	1日の勤務時間の中途

※一般職の標準的な勤務時間です。

(2) 年次有給休暇の取得状況(平成16年)

総付与日数	10,500日
総取得日数	2,246日
全対象職員数	283人
平均取得日数	7.9日/人
消化率	21.4%

※「全対象職員数」とは、暦年で全期間を在籍した一般職員(非現業の一般職に属する職員のうち、首長部局に勤務する職員で交代制勤務の職員を除く)をいいます。

(3) 休暇の概要(平成17年3月1日現在)

休暇の種類	付与日数・期間等	有給・無給の別
年次有給休暇	原則20日/暦年	有給
病 気 休 暇	必要最小限度の期間	有給
特 別 休 暇	事由により付与	有給
介 護 休 暇	6月以内/継続・件	無給
組 合 休 暇	20日以内/暦年	無給

(4) その他

① 育児休業等の状況(平成16年度)

育児休業取得者	平均承認期間
7人	1年3月

② 旅費制度の概要(平成17年3月1日現在)

区 分	日当(1日につき)		宿泊料(1夜につき)	
	県外	県内	県外	県内
特別職	3,000円	2,600円	13,100円	11,800円
市長、助役、収入役及び教育長 議長、副議長及び議員				
一般職	2,500円	2,200円	10,900円	9,800円

※1 県内の旅行の場合における日当は、公務上の必要又は天災その他やむを得ない事情により宿泊した場合に限り支給します。

※2 水路旅行及び航空旅行についての宿泊料は、公務上の必要又は天災その他やむを得ない事情により上陸又は着陸して宿泊した場合に限り支給します。

※3 市内の旅行については、旅費は支給しません。

4. 職員の分限及び懲戒処分の状況(平成16年度) 該当なし

5. 職員のサービスの状況

(1) 営利企業等の従事許可の状況(平成16年度)

営利企業等の従事の内容	許可件数
報酬を得て事業もしくは事務に従事する場合	1件

6. 職員の研修の状況

(1) 研修の状況(平成16年度)

研修内容	人数
メンタルヘルスなど	71人
パソコンスキルアップ、ビジネスマナーなど	8人
新採、中堅、上級、監督者、管理者研修など	65人
財務事務、政策法務など	9人
自治大学校、市町村職員研修所、海外研修、県実務研修など	8人

※別途、各課にて担当業務の研修を行っています。

7. 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1) 健康診断の実績(平成16年度)

健康診断の種類別	対 象 者	受診者数
健康診断	503人	437人
胃検診	337人	235人
子宮ガン検診	46人	24人

(2) 公務災害補償(平成16年度)

	公務災害
申請件数	1件
認定件数	1件
不認定件数	0件

(3) 勤務条件に関する措置の要求の状況(平成16年度) 該当なし

(4) 不利益処分に関する不服申立ての状況(平成16年度) 該当なし

【問い合わせ先】 総務課 人事給与係(牛津庁舎) 担当 高島・高塚 ☎63-8800

兵庫県三日月町／鹿児島県知覧町交流事業

兵庫県

三日月町

兵庫県三日月町とは、昭和57年両小学校卒業式でのメッセージ交換から始まり、平成7年4月に旧三日月と友好姉妹町提携を結びました。以降、多くの各種団体を中心に交流活動が活発に行われ、平成10年からは、小・中学生のホームステイ事業を毎年交替で実施しています。今年、小城市三日月町から兵庫県三日月町へ行ってきました。

実施日 8月6・7・8日の3日間 **参加者** 小学生6人、中学生3人



兵庫県三日月町の案内（今年、10月1日に合併をして、佐用町となりました。）

兵庫県中西部に位置し、面積は50.19km、人口3,381人、小学校1校（児童数166人）、中学校1校（生徒数101人）。丘陵地には、世界最大級の大型放射光施設をはじめ先端技術産業、学術、住宅などが整備されつつある播磨科学公園都市があります。また、歴史遺産も多く、江戸時代には三日月藩乃井野陣屋敷跡があり、現在物見櫓が復原されています。主な物産としてワイン、そば、みそなどがあり、先端の文化と静かな自然が交わった素晴らしい所です。

鹿児島県

知覧町

知覧町と旧小城町の交流は、小京都としての伝統と恵まれた自然環境などの数々の共通点や、特産の知覧町のお茶と小城の羊羹、更に“ホタルが取り持つ縁”から平成4年11月1日友好姉妹都市交流の調印が行われました。

両町の「ふるさとまつり」での郷土芸能の出演をはじめ、地域団体の交流、文化・芸能における交流、中学校間の交流などが盛んに行われてきました。

今年度も両市町の「ふるさとまつり」に両市町の郷土芸能団体のご出演いただきました。

『知覧・小京都ふるさとまつり』
小城市・小城棒踊り



『小城市ふるさとまつり』
知覧町・上別府太鼓踊り



鹿児島県知覧町

人口13,624人。武家屋敷が今も残っており、美しく整然とした町並みは「薩摩の小京都」と呼ばれています。また、知覧町は第二次大戦中に旧陸軍特攻基地が置かれた場所で、現在基地跡には「特攻平和会館」が建てられ、「平和を語り継ぐ町」として全国に情報発信しています。

「知覧茶」は全国的に知名度が高く、産地賞・農林水産大臣賞を受賞するなど銘柄が確立されており、さつまいも「知覧紅」は鹿児島ブランドとして定着しています。

年末年始のごみ・し尿収集等のお知らせ

			12月									1月						
			22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6
			木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
燃えるごみの収集	市内全域	月・木曜日区域	○				○			○		休み	休み	休み	休み		○	
	市内全域	火・金曜日区域		○				○			○	休み	休み	休み	休み			○
ごみ直接搬入	市内全域	天山地区塵芥処理場組合 電話66-1630	○		△ 午前中		○	○	○	○	○	休み	休み	休み	休み	○	○	○
し尿汲取り	小 城 町	(有)小城新生興業社 電話72-3091	○				○	○	○	○	△ 午前中	休み	休み	休み	休み	休み	○	○
	三日月町	(有)小城新生興業社 電話72-3091	○				○	○	○	○	△ 午前中	休み	休み	休み	休み	休み	○	○
		(有)大和環境整備センター 電話62-0059	○				○	○	○	○	△ 午前中	休み	休み	休み	休み	休み	○	○
	牛 津 町	(有)天山環境開発工業 電話66-1356	○				○	○	○	○	△ 午前中	休み	休み	休み	休み	休み	○	○
	芦 刈 町	(有)天山環境開発工業 電話66-1356	○				○	○	○	○	△ 午前中	休み	休み	休み	休み	休み	○	○
申し込みについて		し尿汲取りは、お住まいの地区の上記の許可業者へ直接申し込みください。 また、年末年始の受付は12月22日（木）までになっていますので早めのご予約をお勧めいたします。																
火葬場	市内全域	天山地区共同斎場組合 電話76-2657	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎燃えるごみ

月・木区域は、1月2日（月）、火・金区域は、1月3日（火）が休みとなります。

◎燃えないごみ

コンテナが満杯のときは、各家庭で保管してください。小城本町地区の燃えないごみの収集は、ピン・ガラス類を1月4日（水）、金物類を1月16日（月）に収集します。

◎ごみ直接搬入

平日は、8時30分から16時00分、第2・4土曜日は8時30分から12時00分まで天山地区共同塵芥処理場組合へ搬入できます。

【問い合わせ先】 天山地区共同塵芥処理場組合 小城市牛津町柿樋瀬1174-1 ☎66-1630

◎資源物収集

小城町は、1月1日（第1日曜日）を延期し、**1月8日（第2日曜日）に変更して実施**します。

三日月町は、通常どおり1月4日（第1水曜日）、11日（第2水曜日）、18日（第3水曜日）、25日（第4水曜日）に収集します。

芦刈町は、通常どおり1月8日（第2日曜日）に実施します。

牛津町は、通常どおり1月15日（第3日曜日）に実施します。

【問い合わせ先】 生活環境課 廃棄物対策係（小城庁舎） 担当 池田・桑原 ☎73-8803

高齢者のための
法律セミナー

開催日時

十二月五日(月)

十三時三十分～十五時

開催場所

牛津保健福祉センター

「アイル」集団指導室

対象者

牛津老人大学受講生・

市内在住高齢者

テーマ

「くらしに役立つ法律の話」

講師

江崎 匡慶 弁護士

主催 小城市

【問い合わせ先】

市民課 消費生活相談係

(小城市庁舎)

担当 高木

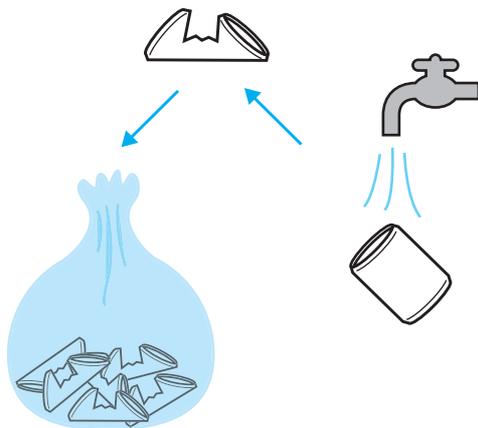
☎七三ー八八〇〇

アルミ缶の回収を行います

とき

十二月二十日(火)

午前九時～午前十一時



ところ

小城市役所小城市庁舎

裏駐車場

個人でも団体でも持ってきてください

支払

当日、代金を支払います

注意

※アルミ缶のみ回収いたします。(スチール缶は回収しません)

※缶は洗ってよく水切りをし、軽くつぶして透明な袋に入れてご持参ください。

【問い合わせ先】

市民課 消費生活相談係

(小城市庁舎)

担当 高木

☎七三ー八八〇〇

小城市たい肥投入補助事業

小城市では、たい肥投入による有機農業を推進するため、市内の畜産農家の生成するたい肥を市内に住所を有する方（農家に限らず、家庭菜園等を作られている方も対象となります。）が購入した場合、購入金額の1/2以内を助成します。なお、1世帯当たり年間3万円を限度とします。(当該年度の4月から翌年3月)

ただし、生のたい肥、無料または麦わら・稲わらとの交換は補助の対象となりません。

補助金交付の手続き等、詳しい内容については、農林水産課農産係（芦刈庁舎）までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 農林水産課 農産係（芦刈庁舎） 担当 真子 ☎63-8820

たい肥供給者一覧

氏名	畜種	住所	電話番号
川久保 悟	乳用牛	小城市畑田1427-1	72-5589
大石 英二 建吾	肉用牛繁殖	小城市岩蔵5789-1	73-2686
諸隈 健次	肉用牛肥育	小城市岩蔵5762	72-5274
津城 謙二	養豚肥育	小城市畑田35-1	73-4603(豚舎) 73-4403(自宅)
野村 利治	養豚一貫	小城市松尾2764-17	73-3169
溝口 琢磨	肉用牛繁殖	三日月町久米619	73-2905
江口 進	肉用牛肥育	牛津町下砥川620-7	66-2751

WELCOME TO MIKATSUKI Jr.HIGH SCHOOL

学校紹介

小城市立三日月中学校



体育大会・スタンプ

校訓

一. 鍛錬に努め、
強健な心身をつくる

- 部活動入部 89%
- 部活動団体入賞数 28
- スポーツ個人入賞数 73

ゆとりの中で充実した学習

◎教育課程の二期制により、
ゆっくり、じっくり学べます。

若竹

克己

叡知



至誠



夏休みの学習会

一. 学問に励み

豊かな知識を備える

- 文化面個人受賞数 255
- 各種検定合格者数 193

一人ひとりの力を高める学習

◎学力強化のために、少人数での
学習指導の時間を設けています。



自主的なあいさつ運動

一. 誇り高く、 力あわせて正義を護る

◎善行表彰 26

(※平成16年度実績)

一人ひとりが輝く三日月中学校

※次回1月号は三日月小学校の予定です。

小城市子ども相談事業 心のホットライン その二

泣く子・黙る子・
暴れる子・心身の不
調を訴える子への理
解を



前号で紹介した心のホットラインへの相談(電話・面談)は、概ね「泣く」「黙る」「暴れる」「心身の不調を訴える」というような状況の子どもを持つご家族からのものがほとんどです。自分の子や孫が小さな胸を痛め悩み苦しみ、なかには不登校や不登校傾向をも示していることに胸を痛めておられるご家族のせっぱ詰まった状況に接し、相談室担当者として少しでも手助けができればと精一杯対応させていただいている昨今です。

ご承知のように、最近では全国的にも不登校やひきこもりの子への支援をどのようにしていくかが大きな課題となっております。そのため、佐賀県としてもそれぞれの中学校区にスクールカウンセラーを配置し、学校内における該当児童・生徒や保護者等への対応及び教職員の研修等に当たっています。

小城市では、現在4名のカウンセラーをそれぞれの中学校区に配置して、週一回ながらそれぞれの小・中学校において積極的に対応しているところです。

また、市教育委員会では今年度小城市庁舎2階に新規設置した「小城市子ども相談室」に2名の相談員を配置して電話相談や面談に対応しています。

ところで、社会一般では不登校や不登校傾向の子どもたちのことを、「心が弱い子、わがままな子、怠け者・・・、というようなイメージで受け止めておられる方もおおいでしょう。確かにそのような部分も少しはあるかもしれませんが、でもそれは、「人間であれば誰にでもある」程度なのです。むしろ、他の人よりも「優しく、思いやりがあり、感受性が強い」子どもたちではないかと思っています。

成長過程のある時期に、ひどく心が傷つき癒されないまま過ごしてきた子どもたちです。

必死に生きているこの子どもたちの悩みに共感し、理解し、少しでも心の支えになっていければと思っています。

子ども相談事業へのご理解ご支援をよろしく願います。



心のホットライン

☎0120017211021

担当 学校教育課 相談員

江口 嘉副

フォトコンテスト開催中～伝えたい歴史残したい風景～

小城市観光協会及び小城市の発足を記念してフォトコンテストを開催しています。
応募要領等については次のとおりです。

- **応募期間** 平成17年11月1日～平成18年10月31日
- **応募資格** どなたでも構いません。
- **撮影場所** 小城市内に限ります。
- **応募点数** 何点でも構いません。
- **参加料** 無料。ただし応募作品については返却しません。
- **応募方法** 申込用紙に必要事項を記入し、観光係（小城庁舎）又は商工係（芦刈庁舎）に申し込みください。
※申込書は各庁舎の総合窓口及び商工観光課（商工係、観光係）に備えています。
- **賞** 最優秀賞一点五万円 金賞二点一万円 銀賞五点賞品 入賞十点点賞品
その他詳細については問合せください。

【問い合わせ先】 小城市観光協会（小城市商工観光課内） ☎73-8813

第18回小城市芦刈ムツゴロウロードレース大会

心身共に健康な人づくりと、自然に親しみ環境を大切にする風土づくりをテーマとした小城市芦刈ムツゴロウロードレース大会が、10月23日（日）ムツゴロウ公園を会場に芦刈海岸道路に設置している折り返し地点までの往復で行われました。

小城郡が合併し、小城市としての初めての大会には約1,000人の選手が自慢の健脚を競われ、約3,000人の観客でにぎわいました。



最高齢者は72歳の方が5km壮年男子の部に、最年少者は2歳の女の子がお父さん、お母さんと元気にジョギングに参加されました。
当日は、前日の雨・風が嘘のようにさわやかな秋晴れで、バルーンも飛びかう絶好のスポーツ日和となりました。
来年は、ぜひ皆さん参加しませんか！！

第18回大会市内入賞者

★小学男子(2km)

1	古賀 拓也	ムツゴロウ走友会	8' 18"
2	山口 智大	牛津陸上	8' 22"
3	山下 侑紀	ムツゴロウ走友会	8' 23"

★小学女子(2km)

1	久保 志織	芦刈少女バレー	8' 12"
2	諸岡 咲子	牛津陸上	8' 13"
3	陣内 友美	小城町	8' 55"

★中学男子(5km)

1	本田 拓生	小城中学校	18' 20"
2	溝田 慎悟	ムツゴロウ走友会	18' 32"
3	中島 直幸	小城中学校	18' 45"

★壮年男子(5km)

1	陣内 守彦	小城町	18' 48"
2	川崎 和矢	芦刈町	22' 21"
3	可徳 三博	牛津町	22' 54"

★一般男子(10km)

1	大石 一	小城町	36' 22"
2	諸石 康敬	小城高校	36' 33"
3	楠田 昭徳	芦刈町	36' 50"

★一般女子(10km)

1	藤井香代子	小城町	40' 00"
2	寺田 弘子	小城町	40' 29"
3	川崎真理子	芦刈町	41' 28"

★レディース(3km)

1	久富 恵子	小城中学校	10' 53"
2	武富 古都	小城中学校	11' 17"
3	鶴丸 知子	ムツゴロウ走友会	11' 23"

【問い合わせ先】 ムツゴロウロードレース大会実行委員会事務局（小城庁舎 生涯学習課内）
担当 荒川 ☎73-8808

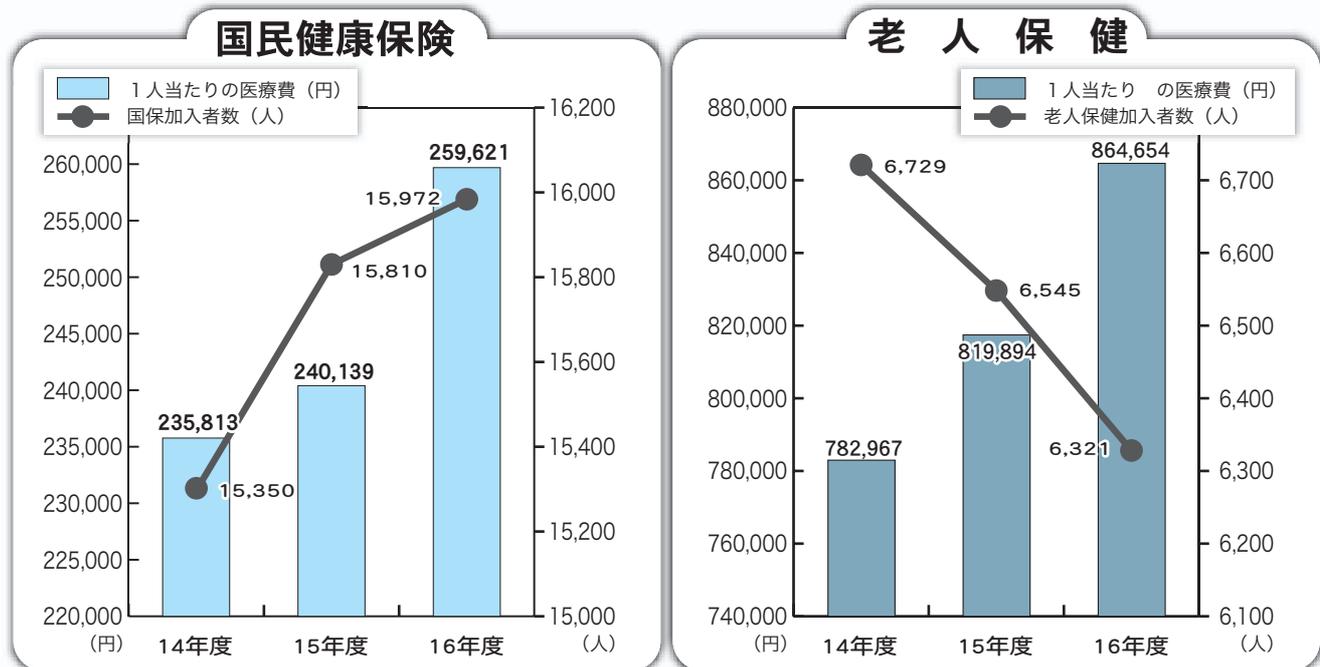
小城市の医療費の推移 その1

下記の左のグラフは、小城市の国民健康保険加入者数と「1人当たりの医療費」の推移を表しています。15年度から16年度にかけて、加入者数の増加に対して医療費が著しく伸びているのがわかります。

下記の右のグラフは、小城市の老人保健加入者数と「1人当たり医療費」の推移を表しています。加入者数は減少していますが、1人当たりの医療費は年々増加傾向にあります。

医療費は国・県・市などの公費（税金）と個人負担分などによって賄われます。医療費が増加すると、病院などで支払う直接的な個人負担はもちろん、公費も今の税金では賄えなくなり、増税せざるを得ないことになりかねません。

疾病は、発見が遅れると高度な医療が必要になります。また治るまでに時間を要することになり、結果的に医療費の増加につながります。常に健康管理に十分注意して、定期的に健康診断を受けるなど、疾病の早期発見、早期治療を心がけ、みんなで負担している医療費を大切に使いましょう。



【問い合わせ先】 国保年金課（小城庁舎） ☎73-8802

小城市健康プラン策定委員を募集します

小城市では、市民の皆様が生涯を通じて健康的な生活を送れるよう、主体的に健康を維持・管理できる環境づくりを進め、「生涯を通じた健康づくりの推進」を図るため、小城市健康プランを策定します。

そこで、小城市健康プランの策定に際し、より幅広い意見を取り入れたものとするため、次のとおり策定委員を募集します。この機会にあなたの意見を反映させてみませんか。

応募資格 市内在住で健康づくりに関心のある方

任期 平成18年2月1日～平成19年3月31日

募集人員 3人以内

応募方法 下記の①～⑥の事項を明記したものと作文（テーマ）「健康でいきいきと暮らせるまち」800字以内を下記まで直接持ってきていただくかFAX又は郵送してください。

※①住所 ②氏名 ③生年月日 ④電話番号 ⑤性別 ⑥職業（特に様式は定めていません。）

応募期限 平成18年1月10日（火）

選考方法 応募いただいた書類をもとに審査し、1月下旬に結果を本人宛に通知します。

【問い合わせ・応募先】 健康増進課 健康づくり係（三日月庁舎）
〒845-8511 小城市三日月町長神田2312番地2
担当 島ノ江 ☎73-8822 FAX73-8827

小城市民

ミリオンウォーキング

達成者続々です!

4ヵ月で100万歩を目指す、小城市民ミリオンウォーキングです。あなたも健康のためにチャレンジしてみませんか？達成された方には認定証と小城市オリジナルピンバッジの贈呈、さらに広報誌に写真を掲載していきます。

（記録表は各保健福祉センターに配置しております。また小城市のホームページよりダウンロードも可能です。）

【問い合わせ先】

健康増進課 健康づくり係（三日月庁舎）
担当 古場・小林 ☎73-8822

100万歩達成10人目（記録3,955,772歩）

芦刈町 福島 義隆さん

ひとこと

「平成13年秋の健康診断で糖が検出され、カロリー制限と運動にウォーキングを取り入れ3年経過した頃に、市の健康増進課企画のミリオンウォーキングに早速参加し、目標を200万歩としてスタートしました。途中で体調が良かったので、一日4時間から6時間毎日挑戦して歩きました。お陰様で体重も13kg減り、糖も正常値に回復し、今後も健康維持のため続けて歩きたいと思います。」



100万歩達成9人目（記録1,152,452歩）

小城市 橋本 クリエさん

ひとこと

「近所の奥様方が健康のためにウォーキングされていたので、私も一緒に誘われて歩くことにしました。四季折々の草花や 田んぼの移り変わりなどを話しながら楽しく歩いています。それなのに100万歩達成の認定証を頂きありがとうございます。」



100万歩達成11人目（記録2,000,400歩）

三日月町 溝口 賢治さん

ひとこと

「運動不足と足腰強化、老化防止の為に以前から歩いていましたが、親友の福島氏にこの企画を紹介され参加。目標の記録を大きく上回る事が出来、名誉な認定証とバッジを頂きました。今後も頓挫する事なく歩き続けていきます。ウォーキング中に声をかけて頂いた方、ありがとうございます。」



100万歩達成12人目（記録1,129,810歩）

牛津町 岩井 尚さん

ひとこと

「動機は運動不足解消に早朝、夕に北は天山、南は田園風景ラジオを聞き、鼻歌交え心身共リラックス。月日がたつにつれ習慣となり歩数も今では早足1万2千歩を超えウォーキング励行中。今回の認定証を受け、一層の健康指向医者いらず。マイペースで目標は大きく生涯億歩に挑戦しよう。」



100万歩達成13人目（記録1,834,407歩）

牛津町 松本 和行さん

ひとこと

「歩くことは、健康維持によいと言うことで、まず町内の用件は歩くことから始めました。ミリオンウォーキングの企画は、目標達成という目的に向かって歩くことを計画的に持続しようとする点からも最適なことと思います。つい最近テレビで、自転車の効用が放映されましたが、今後は徒歩と自転車の併用で健康管理に努め、元気で明るい毎日が続けたいと思います。」



100万歩達成14人目（記録1,124,450歩）
小城市 上山 榮子さん
ひとこと

「歩き始めて20年が過ぎました。コレステロールが高くこれが又手ごわいのです。なかなか下がりません。朝早く歩いていましたが、空腹時では何の効果も見られませんでした。夕食を食べた後の方が少しですが効果がありました。今からの季節歩くのに一番ですね。」



100万歩達成15人目（記録1,486,093歩）
芦刈町 北村 美代子さん
ひとこと

「去年の健康診断の結果が気になって、『好きな物が食べられなくなる』との思いで始めたウォーキングがまだ1年と少しですが、『食欲から健康欲』に変わる事ができました。『継続は健康なり』を実感しながらミリオンウォーキングを達成できました。目標は続ける事です。」

100万歩達成16人目（記録1,785,160歩）
小城市 北島 良晴さん
ひとこと

「数年前、気がつけばいつの間にか7～8kg太って自分自身重く感じるようになっていた。『これはいかんぞ』と思いウォーキングを始めたがなかなか体重は減らない。歩く距離を延ばしてみたら3ヶ月程で効果あり。現在もベストの状態です。」



100万歩達成17人目（記録1,212,767歩）
小城市 泉 惟雄さん
ひとこと

「在職中から約20年弱余り健康増進のため、早朝にウォーキングを行っています。朝早く澄んだ空気の中、季節の移ろいを感じ今日一日の仕事・行動の計画を考えつつ歩き小生の一日が始まります。これからも生活のリズムを崩さずマイペースで継続していきたいと思っています。」



禁煙チャレンジャー募集

小城市では、禁煙を決意している方を対象に「禁煙個別健康教育」を実施します。あなたや家族の健康のために禁煙に取り組んでみませんか？

- ★対象者 40歳以上の小城市民で喫煙本数が1日平均20本以上の方で、かつ1月からの禁煙を始められる方
 - ★定員 8人（先着順）
 - ★場所 各保健福祉センター
 - ★内容
 - ①初回面接 ・プログラムの説明
（12月末頃）・尿中ニコチン濃度、呼気中一酸化炭素濃度測定
・禁煙のコツ、禁断症状を乗り越えるためのコツ
・禁煙開始日の設定など
 - ②禁煙開始前後（1月）：面接又は電話等による相談
 - ③1ヶ月・2ヶ月・3ヶ月後（2～3月）：面接又は電話等による相談
- *面接日は都合に応じ設定しますので、就業中の方もぜひお申し込みください。
- ★参加費 無料
 - ★応募締切 12月16日（金）
※申込み後、担当保健師より初回面接のご連絡をいたします。



【申し込み・問い合わせ先】 健康増進課 保健予防係（三日月庁舎） 担当 松尾 ☎73-8822

小城公園元気広場を ライトアップします

小城公園元気広場「小城の滝」を期間限定でライトアップします。皆さんのご来場をお待ちしております。

期 間 十二月二十三日(祝)～二十五日(日)

時 間 午後五時～午後九時

場 所 小城公園元気広場内

駐 車 場 自楽園グラウンド

【問い合わせ先】
商工観光課観光係(小城庁舎)
担当 南里 ☎七三一八八一三



十二月四日～十日は 「人権週間」です!

育てよう 一人一人の人権意識
—思いやりの心—
かけがえのない命を大切に!

法務省及び全国人権擁護委員連合会は今日まで、世界人権宣言が採択された十二月十日を「人権デー」と定め、「人権デー」を最終日とする一週間(十二月四日から十二月十日まで)を「人権週間」として、世界人権宣言の意義を訴えるときともに人権尊重思想の普及高揚に努めてきました。

しかし最近では、物質的な豊かさのみを追い求め、心の豊かさをはぐくむことに関心を持たない風潮や、他人への思いやりの心が薄れ、自己の権利のみを主張する傾向などが見受けられます。このような状況は、様々な人権侵犯事案を発生させる大きな要因となっています。とりわけ児童虐待、家庭内暴力や小中学生による殺傷事件など、残忍で人の生命を軽んじるような痛ましい事案が多発するなど憂慮すべき状況にあります。

そこで、法務省の人権擁護機関に

において、今年度は「育てよう 一人一人の人権意識 —思いやりの心・かけがえのない命を大切に—」を啓発活動重点目標と定め、各関係機関との連携を図り、家庭や地域社会、学校や職場などにおいて積極的な啓発活動を展開しているところで

今年度「第五十七回人権週間」を迎えるにあたり、生命の尊さ・大切さや、自己がかけがえのない存在であると同時に他人もかけがえのない存在であること、他人との共生・共感の大切さを真に実感し、「思いやりの心」と「かけがえのない命」を大切にすることを考えてみましょう。

小城市人権擁護委員

氏 名	住 所	電話番号
秋山 勝美	小 城 町	72-5433
眞子 忠敏	小 城 町	73-2867
山崎 和馬	小 城 町	72-3510
円城寺昌子	小 城 町	72-5430
高田田鶴子	三日月町	72-3304
西村 俊治	三日月町	73-2556
永溪 俊行	牛 津 町	66-2325
中牟田秀徳	牛 津 町	66-0869
古川 恭子	芦 刈 町	66-1410

小城市の人権擁護委員は、法務大臣が委嘱した民間のボランティアの方々です。この方々は日頃地域に根ざした活動を行い、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、法務局の人権相談所や自宅などで住民の皆さんから人権相談を受けるなど、積極的な活動をされています。

【問い合わせ先】
市民課 人権・同和对策室
(小城庁舎)
担当 小柳・円城寺
☎七三一八八〇〇

国勢調査にご協力
ありがとうございました!



十月一日を基準日に全国一斉に実施した国勢調査にご協力いただきました。皆様ありがとうございます。皆さんの調査票は、厳重な管理のもと、集計は総務省にて行われます。また、調査の結果は、少子高齢社会への取り組みや未来のまちづくりに役立てられます。

【問い合わせ先】
企画課 企画調整係
担当 円城寺 ☎六三一八八〇三

市民協働推進コーナー

VOL.4

財団法人自治総合センターは、宝くじの普及広報活動事業として、毎年、コミュニティ助成事業を行っています。

助成対象事業の概要は、次のとおりです。

- ① 一般コミュニティ（お祭り、文化活動、福祉活動など）コミュニティ活動に必要な施設や設備の整備への助成
- ② 緑化推進コミュニティ（公園の植樹・植栽活動などへの助成）
- ③ 自主防災組織育成（地域住民が結成した防災組織の活動に必要な施設や設備の整備への助成）
- ④ コミュニティセンター（多目的な総合施設の建設整備への助成）
- ⑤ 青少年健全育成（野外活動、スポーツ大会など、主に小中学生が参加する事業への助成）

※コミュニティ
人々が共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域、およびその人々の集団。地域社会。共同体。

【問い合わせ先】
企画課 市民協働推進係

担当 坂田・中村
☎六三ー八八〇三
(牛津庁舎)

男女共同参画コーナー

VOL.7

男女共同参画のキーワード
「セクシユアル・ハラスメント」

ハラスメント

男女共同参画を推進していく中の大きな問題にセクシユアル・ハラスメント（セクハラ）の問題があります。

セクハラは、相手の望まない性的な言動（ヌード写真の掲示や猥談なども含まれます）を行うことで、相手に不利益を与えたり、不快な思いをさせたりすることです。特に職場内でセクハラが起こると働く環境を悪化させ、仕事を辞めなければならぬ人達もでてきます。

男性であれ、女性であれ働く人達全員が、気持ち良く働ける職場の雰囲気作りをすることがセクハラを起させない一番重要なことです。

【問い合わせ先】
企画課 市民協働推進係

担当 坂田・森永
☎六三ー八八〇三
(牛津庁舎)



市内の郵便局と小城市において連携をとりあいます！



去る十月三十一日、市内の郵便局と小城市との間で、災害時における相互協力と、道路損傷等の情報サービスについての覚書を取り交わしました。これまで、ゴミの不法投棄情報提供については、全市をカバーする協力体制ができていましたが、今回調印した二つの事項（災害時における相互協力及び、道路損傷等の情報サービス）については、旧牛津町と旧芦刈町のみ覚書を交わしていたものです。今回の調印によって、災害時には、避難場所、物資集積場所等の相互協力、被災状況の情報の相互提供、及び郵便局の職員が業務運行中に知り得た道路損傷等の情報提供が、全市的に行われることとなります。

また、小城市と小城市内郵便局においては、「小城市民サービス連絡会議」を設置し、より一層の連携を

図ることとしています。
*こども110番については、郵便局は全体的に協力体制を敷かれています。

【問い合わせ先】

企画課 市民協働推進係

担当 坂田・中村
☎六三ー八八〇三
(牛津庁舎)

製造事業所の皆様へ

「工業統計調査」に御協力ください

経済産業省では、毎年、製造事業所の皆様の御協力により、工業統計調査を実施しております。平成十七年調査につきましても、平成十七年十二月三十一日現在で調査を実施することになりました。

調査の実施にあたっては、本年十二月から来年一月にかけての大変お忙しい時期に御迷惑をおかけしますが、調査員が伺いますので御協力いただけますようお願いいたします。皆様から提出していただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守しますので、調査の趣旨を御理解いただき御記入をお願いします。

◆問合せ先

企画課 調整係（牛津庁舎）
☎六二ー八八〇三

小城市立歴史資料館・中林梧竹記念館だより

◆「小城鍋島家の近代展」記念講演会

10月22日（土）

「戊辰戦争と小城」—革新的気運の醸成—

講師・小城郷土史研究会会長 岩松要輔氏

幕末から明治にかけての小城の情勢や戊辰戦争に参加したメンバーが、佐賀の乱や自由民権運動に関わる様子について話されました。



11月5日（土）

「近代化遺産からさかのぼる小城の近代経済」

講師・佐賀大学経済学部助教授 山本長次氏

平成14年に行われた「佐賀県の近代化遺産」調査の成果をもとに、鉄道・工業・醸造業・商業に関連する遺産を紹介し、小城の近代経済について話されました。

◆小城郷土史研究会史跡探訪会

11月3日（祝）小城郷土史研究会主催による、市内登録文化財を訪ねるバスツアーがありました。

牛津町の赤れんが館・牛津会館、小城町の小柳酒造・天山酒造・村岡総本舗羊羹資料館・深川家住宅・ルーテル小城教会計7箇所を佐賀県文化課主査の五島章昌也氏による案内で、約3時間かけて訪ねました。

当日は、約30名の方々が参加されました。



展示資料より

「天鼠膏帖」

「中国の書聖」と呼ばれる王羲之の手紙を手本としたものです。四曲一双屏風いっぱいにかかれたもので、71歳の作品です。

この作品は、来年1月7日（土）から行う中林梧竹特別展「梧竹と梧竹をめぐるひとびと」に展示される予定です。



中林梧竹絵はがき

中林梧竹記念館では、現在所蔵・保管している梧竹作品より13点を選び、絵はがきを作成しました。通常のはがきサイズだけでなく、はがき2枚分大サイズの大きさのものも作っています。

梧竹記念館にて販売中です。

通常サイズ 50円

大サイズ 100円です。

13セットで800円です。



【問い合わせ先】 小城市立歴史資料館・中林梧竹記念館 開館時間 9時～17時
12月の休館日：毎週月曜日・12月23日（祝）・12月29日～1月4日
担当 田久保・中山 ☎71-1132 FAX71-1146



まちの話題



全国社会福祉野球大会で連覇／清水福祉会



10月に富山県で開催された「第23回全国社会福祉軟式野球大会」において、小城町の社会福祉法人「清水福祉会」野球部が昨年に続く日本一の栄冠を勝ち取りました。

大会は昨年優勝で予選免除の同会をはじめ、全国各ブロック代表16チームが参加。1回戦から順当に勝ち上がり、準決勝で北海道代表と対戦、昨年の決勝と同様に大接戦の末2-1のサヨナラ勝利を収め、決勝は6-1で快勝しました。

大会2連覇の同会は“10連覇”を目標に、さらに技術を向上させたいと語っていました。

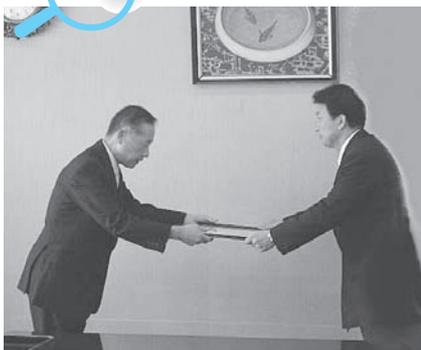
雨二モ負ケズ！大盛況！～小城市ふるさとまつり～

11月6日（日）、「第1回小城市ふるさとまつり」が小城高校南駐車場一帯にて開催されました。時折、雨が降り出す天気の中、ステージ上では市内の郷土芸能や鹿児島県知覧町の太鼓踊りが披露され、物産販売コーナーでは、地元牛肉の販売やおにぎり配布に大きな行列ができるほど賑わいました。

また、午後からは「ダ・カーポ」のミニコンサートが行われ、永遠の名曲「野に咲く花のように」を熱唱、会場から溢れんばかりの拍手が送られていました。



交通死亡事故ゼロ表彰



11月7日（月）牛津庁舎において、佐賀県警察本部長からの交通死亡事故長期抑制市町村顕彰の伝達がおこなわれました。

この顕彰は、小城市管内における交通死亡事故が平成17年5月3日から11月2日までの6ヵ月間発生しなかったことを受けて贈られました。

長期にわたり交通死亡事故を抑止できたことは、交通安全関係団体のご尽力と、交通安全への市民意識の高まりによるものです。

小城市内において、少しでも長く交通死亡事故ゼロの記録が続くようがんばりましょう！

また、12月1日から1ヵ月間は冬の交通安全県民運動が実施されます。『守ろう交通ルール 高めよう交通マナー』のスローガンのもと、交通事故防止に心掛けましょう。

喜びの受賞報告

10月29日・30日に福岡市で開催された第50回九州ブロックPTA研究大会において、小城市芦刈町PTA連絡協議会が日頃のPTA活動に対し団体表彰を受けられ、そのことを教育長に報告されました。芦刈町PTA連絡協議会は芦刈町内の小学校・中学校・幼稚園・保育園のPTA会員で組織され、芦刈町の子どもたちの幸せと健全育成を図るため会員の研修と相互連携に努められ活発な活動を続けてこられました。報告にみえた芦刈小学校PTA副会長の土井さんは、「これを機会に更に地域との連携を図り活動の輪を広げていきます」と抱負を語られました。



「本当は怖い歯周病の話」 について

歯周病と関連する全身の病気

小城多久歯科医師会

林田 宏紹



して発病するという事です。

この歯周病の原因となる歯周病菌や、歯周病巣の細胞が作り出す物質が、口の中だけにどまらず血管、消化管を通じて他の臓器に移行して糖尿病、心臓病、妊婦の低体重児出産、早産、流産、肺炎などをひき起こすことがあります。

歯周病と糖尿病

糖尿病は歯周病を合併することが多く、重症化しやすいということが以前より指摘され、糖尿病の第六番目の合併症とも言われています。

最近の研究では、歯周病が糖尿病に悪影響を及ぼす一方、歯周病を治療すると糖尿病も改善するということが報告され、歯周病と糖尿病がお互いに影響しあう関係であると報告されています。

心臓病

歯周病がひき起こす心臓疾患は、心内膜炎と心臓血管疾患（狭心症、心筋梗塞）で、心内膜炎の原因菌のほとんどが口の中にいる細菌です。

心臓血管疾患は、歯周病菌が歯ぐきの血管内にはいり込み、血流にのり心臓の血管内壁に付着し、動脈硬化や血栓を作りやすくするためにひき起こされることがあります。

歯周病患者の心臓疾患による死亡率は一・九倍、発作は二・八倍との報告もあります。脳の血管内でも同じように血栓を作り、脳血栓、脳梗塞をひき起こすことが考えられています。

妊婦への影響

低体重児出産、 早産、流産

妊婦は口の中の衛生状態が悪くなりがちです。それに加え、女性ホルモンの血中濃度が高まり、歯周病菌のなかの女性ホルモンを利用して増殖する菌が、妊娠した女性を歯周病になりやすくし、進行も早めます。

又、歯周病の病巣より毒素や、炎症をひき起こす物質が血液を介して、胎盤を通過し、胎児の成長に影響を与えたり、子宮の収縮を促して、陣痛、低体重児出産、早産、流産を

ひき起こすことがあります。

歯周病の妊婦は、歯周病でない妊婦に比べて早産や、低体重児を出産する確率が七倍にもなると言われています。

肺炎

歯周病菌が気道に吸引され肺に感染し、肺炎になることがあります。

食べ物を誤って気道に入れてしまい、歯周病菌など口の中の細菌が肺や気管支に感染する誤嚥性肺炎は、寝たきりのお年寄りに多くみられる肺炎です。

胃炎・胃潰瘍

歯周病により食べ物が良くかめずに胃を悪くすることがありますが、そのほか、胃潰瘍をひき起こす細菌としてよく知られているピロリ菌が、健康な歯ぐきの人に比べ歯周病患者の口の中で、はるかに多く検出されるという報告もあります。

歯周病の予防

歯周病の予防策として食後の歯みがきによる清掃が基本となり、口の中の細菌量を減らすことが大変重要です。

歯と歯ぐきの境目、歯と歯の間の構造は大変複雑で、その部分のプラーク（デンタルプラーク、歯垢）を完全に取り除くことは自分ではなかなか不可能なことです。半年か、一年に一度は歯科医院で専門的な口の中の清掃を受けることが望ましく、又、歯周病は生活習慣病ですので家族ぐるみで取り組み、良くない生活習慣があれば、改めることが必要です。

それらができるかどうかに歯周病の予防、治療の成否はかかっています。

歯周病はこれまで述べたような全身疾患の発症、進行の重要な鍵を握る病気ですので、その治療は、歯周病を治すという観点からだけでなく、全身疾患の発症、進行を防ぐといった観点から全身への波及効果をも視野に入れて取り組む必要があります。

歯周病になりやすい・なりにくいという傾向は、三歳くらいまでに口の中に持ち込まれ住み着いた歯周病菌が口の中の細菌全体に占める割合によつて、また、生まれつきの遺伝子・DNAの情報によつてある程度決められています。しかし、それによつて完全に決定されているわけではなく、長い期間の生活習慣によつて、歯周病になるならぬが最終的に決定されます。つまり歯周病は感染症として持ち込まれ、生活習慣病と

暮らしの生活情報

「健康商法」にご注意!!

健康の不安に付け込んだ 勧誘にご用心!

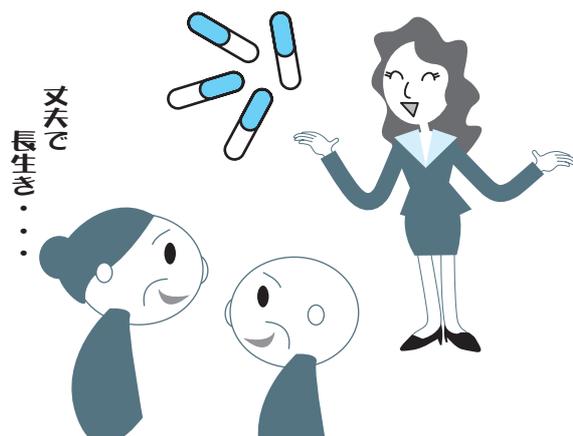
～健康管理は日常の生活から～

相談事例

「健康の話を聞きに行こう」と知人から誘われ空き店舗会場に出向いた。そこでは、日用品が配られ、販売員が問診や診断を行っていた。自分は高血圧で健康に不安があった。「一人暮らしは、病気になったら大変ですよ」「飲めば必ず健康になる」などと言われたので、5年分、150万円の健康食品を購入した。一週間くらい飲んだら食欲不振と便秘になり医師の治療を受けた。

(70代 女性)

これさえ飲めば健康になります



なるほど

訪問販売などで、高齢者などに対し、病気や健康に対する不安につけ込み、「健康になる」「必ず病気が治る」などと言い、健康器具や健康食品を売りつける商法を「健康商法」と言います。誇大な効果効果をうたった商品や、何年分もの商品売りつけたりするものもあります。

ここがポイント

トラブルにあわないためには...

1. 健康食品に薬のような効果はありません。健康食品は、医薬品ではありませんので「〇〇に効く」などという効果効果を表示できません。
2. 健康のことについては、かかりつけの医師に相談し、健康食品を購入する場合は、安全性を調べた上で購入しましょう。
3. 一度に大量に購入するのは禁物です。
4. 訪問販売の場合は、契約書面を受け取った日を含めて8日以内であれば、クーリング・オフができます。

訪問販売・電話勧誘販売・消費者契約などのトラブル

消費生活相談を受付けています

困ったときは早めにご相談ください。

消費生活専門相談員による相談を毎週水・木曜日

(10:00～16:00) 電話・面談にてお受けします。

※お急ぎの方は、県消費生活センター(☎24-0999相談専用)に相談してください。

相談専用電話 ☎72-5667

市民課 消費生活相談係(小城庁舎)担当 高木 ☎73-8800



しっかり者のキクさん

在宅介護支援センターだより

基幹型在宅介護支援センター（三日月庁舎 高齢障害福祉課 高齢福祉係）

市の高齢福祉サービスを紹介します

あんま・はり・灸施術費助成事業

高齢者があんま・はり・灸などの施術を受ける費用の一部を助成する事業です。指定された事業所で利用できる助成券を交付します。

1 利用できる方 65歳以上であんま・はり・灸などの施術を受ける方。

2 サービスの内容

印鑑を持参し、各庁舎の総合窓口にて助成券の交付を受けます。本人・家族以外の方が申請される場合は委任状が必要です。どこの庁舎でも交付を受けることができます。

- ◇ 助成券は市が指定した事業所で1回の施術に1枚利用できます。
- ◇ 1枚で1,000円の助成が受けられます。年間30枚まで助成券を交付しますが、1回に6枚発行します。
- ◇ 助成券は本人以外使用できません。また人に譲ったりもできません。

【問い合わせ先】 高齢障害福祉課 高齢福祉係（三日月庁舎）
担当 松尾・林 ☎73-8820

高齢者の相談窓口

高齢者の介護や高齢福祉サービス等の総合相談窓口として在宅介護支援センターが市内に5ヶ所あります。お気軽に相談ください。

名称	所在地	電話番号	担当区域
小城市基幹型 在宅介護支援センター	三日月町長神田 2312番地2 (三日月庁舎)	73-8820 73-2172	市内全体
清水園 在宅介護支援センター	小城町820番地	72-1365	小城町担当
鳳寿苑 在宅介護支援センター	三日月町甲柳原 68番地1	72-1786	三日月町担当
るんびに園 在宅介護支援センター	江北町惣領分 4153番地	86-5710	牛津町担当
あしはらの園 在宅介護支援センター	芦刈町三王崎 1523番地	51-5033	芦刈町担当

認知症の予防には・・・

介護予防シンポジウム（佐賀中部広域連合主催）が10月21日に佐賀市文化会館で開催されました。認知症予防がテーマで、東京都老人総合研究所の宇良千秋研究員より認知症の危険因子についての説明や東京都での認知症予防の取り組みについて紹介されました。

認知症の発症を予防する生活習慣

1. 食習慣・・・魚や野菜、果物、ワインの摂取が認知症の発症を抑制。
2. 運動習慣・・・週3日以上運動をする人は認知症発症の危険度が1/2。
3. 知的活動習慣・・・文章を書く・読む、頭を使うゲームをする、博物館に行く等が認知症の発症を抑制。
4. 対人的な接触・・・閉じこもりがちで週1回未満しか家族・友人に会わない人は週1回以上会う人に比べて認知症発生率は8倍。

認知症の発症を遅らせるために認知症になったら最初に低下するエピソード記憶、注意分割機能、計画力を鍛えましょう！！

エピソード記憶

「昨日夕食に〇〇を食べた」というように、体験したことを覚えている

〈きたえる方法〉

- ・買ったものを思い出しながら家計簿をつける
- ・2日遅れの日記をつける

注意分割機能

2つや3つのことに注意を振り分ける能力

〈きたえる方法〉

- ・2つや3つのことを同時にする
- ・てきぱき仕事をする
- ・相手に注意を配りながら話をする

計画力

新しいことをするとき、うまくいくように手順を考える能力。思考力のひとつ。

〈きたえる方法〉

- ・新しい料理を考えてみる
- ・旅行の計画を立てる
- ・パソコンでミニコミ誌を作る
- ・新しいことをやる

〈利用対象者〉

- 0歳～18歳までの児童とその保護者
(小学校入学前の児童の利用は保護者同伴とする。また、校区外からの小学生の来館については、保護者同伴かもしくは小学校の外出の約束に従って来てください。)
- 児童センターを支援する地域の大人



〈開館時間〉

- 午前10時から午後7時まで(日曜日は午後6時まで)
※小学生以下は午後5時まで

中高生向け

絵手紙教室

日 時/12月10日(土)14:00～
「クリスマスカードをかこう」
12月24日(土)14:00～
「年賀状をかこう」
対 象/どなたでもOK!
幼児は保護者同伴です
受 付/当日(参加自由)
持ってくる物/自分が描く野菜など

スタジオ利用講習会

スタジオ利用希望者は、講習会を受けてください。
日 時/12月12日(月)17:00～
「ドラム」
12月26日(月)17:00～
「ベース・ギター」
対 象/中学生以上
受 付/当日カウンターへ
(事前受付も可)

おはなし会

おはなし2つと楽しい
遊びがあるよ
日 時/12月5日(月)
①11:00～ ②16:00～
12月19日(月)
①11:00～ ②16:00～
対 象/どなたでもOK!
受 付/当日(参加自由)

映画上映会

日 時/12月4日(日)
11:00～
「ぐるんぱのようちえん」
14:00～
「ハリーポッターと秘密の部屋」



創作教室

日 時/毎週水曜日 15:30～
(12/28はお休みです)
※12月は「アクセサリー作り」です
対 象/小学生以上
受 付/当日(参加自由)

クラフト教室

「たこづくり」
日 時/12月10日(土)
10:30～
対 象/小学生以上
受 付/当日(参加自由)



乳幼児向け

★やってみよう

「クリスマスの飾りをつくらう！」
日 時/12月17日(土)14:00～
対 象/幼児(年長)以上
定員15名
幼児は保護者同伴です
受 付/12/5(月)～12/9(金)
定員15名を超えた場合は抽選になります。
※材料費100円を当日徴収します。

ゆうゆうキッズ

ダンスや工作など楽しい企画満載!
おともだちをつくらう!
日 時/毎週金曜日 10:30～
(12/23・30はお休みです)
12月2日「クリスマスリース」
12月9日「親子たいそう」
12月16日「クリスマス会」
対 象/乳幼児とその保護者
受 付/当日(参加自由)

手芸教室

日 時/毎週月曜日「手芸」15:30～
※今月の手芸は「ポポマスコット」
毎週水曜日「あみもの」16:00～
(12/28はお休みです)
※毛糸は100円で販売しています。
対 象/小学生以上
受 付/当日(参加自由)
持ってくる物/毛糸、編み棒
(「あみもの」)

★手話教室

日時／第2・第4土曜日
(12月は10日と24日)
10:00～10:45
11:00～12:00
(9月から3月までの全
14回の教室です)
対象／10:00～10:45
小学1年生から小学3年
生まで
11:00～12:00
小学4年生から中学3年
生まで
受付／受付中
先着各20名ずつ

★クッキング教室

日時／12月12日(月)
16:30～18:30
「お正月料理」
12月26日(月)
16:30～18:30
「チーズケーキ」
対象／小学4年生以上 定員各10名
受付／受付中
締切日／12月12日分→12月9日
12月26日分→12月19日
各回定員10名を超えた場
合は抽選になります。
※材料費300円を当日徴収します

★子育て講座

「子どもの栄養管理」～子どもの
ための、お母さんの料理教室～
日時／12月14日(水)
10:00受付 10:30開始
場所／ゆめりあ
講師／栄養士 村山益代氏
対象／乳幼児の保護者 定員20名
受付／12/5(月)～12/9(金)
定員20名を超えた場合は抽選になります
※当日は完全託児制となります。

～受付が終了した講座～

ゆうゆう茶道教室

12月3日(土)10:30～
12月17日(土)10:30～

ゆうゆう華道教室

12月11日(日)10:30～
12月25日(日)〈希望者のみ〉
「お正月の花」10:30～
※「お正月の花」は材料費、
500円が必要となります。

★料理教室

日時／12月18日(日)14:00～
「かぼちゃのポタージュ」
対象／小学生以上 定員12名
受付／12/5(月)～12/9(金)
定員12名を超えた場合は
抽選になります。
※材料費300円を当日徴収します

★親子しめなわ教室

手作りの「しめなわ」でお正月を
迎えませんか♪
日時／12月25日(日)
9:30～
講師／大中 義隆氏
対象／親子40組
受付／12/5(月)～
12/16(金)
定員40組を超えた場合
は抽選になります。

◆講座・教室等は、都合により日程や内容が変更になる場合があります。

募集★講座・教室の申し込みについて

★のついた講座は申し込み制です。

講座の申し込みは12月5日(月)10:00から行います。(一部、受付中の講座あり) 児童センターへ
本人または保護者が電話かカウンターで申し込みをしてください。

また申し込まれた講座・教室をやむをえず欠席される場合は、必ずセンターまでご連絡ください。

休館日のお知らせ

毎週火曜日と毎月第2木曜日

※その日が国民の休日にあたる場合はその翌
日が休館。
12月は6日、8日、13日、20日、27日が休
館です。

年末年始のお休みは

12/28(水)から1/4(水)までです。



小城市児童センター

TEL 0952 (72) 1300

FAX 0952 (72) 1313

小城市三日月町長神田1821-1

※毎日の行事が入った詳しいお便りは、児童センターをはじめ、各保
健福祉センター、ドゥイニング等市内の各公共機関に常設しています。

第3回 ゆうゆうフェスタ 12月23日(祝・金)

映画・ビンゴ大会・サークル発表会
ライブ・あそびコーナーなど・・・(予定)

★ ドキドキ★ワクワク♪の
イベントだよ!お楽しみに★

◆サークル発表会の出場者を募集します。
「ダンス」や「うた」なんでもOKです!
詳しくはセンターまで。
※内容は変更になることがあります。

小城市民図書館だより

No.8

★利用時間 午前10時～午後6時（土、日は午後5時まで）★

三日月館

小城市三日月町長神田1845番地 TEL(0952)72-4946
ホームページ
<http://www.library.mikatsuki.saga.jp/>
E-mail mlibrary@po.saganet.ne.jp

小城館

小城市小城町158番地4 TEL(0952)71-1131
ホームページ
<http://library.town.ogi.saga.jp/>
E-mail tosyokan-ogi@city.ogi.lg.jp

牛津分室

小城市牛津町勝1324-1（旧牛津町役場北別館）
TEL (0952)63-8813（牛津公民館代表電話）
内線 5825

芦刈分室

小城市芦刈町三王崎349番地
（芦刈農村環境改善センター内）
TEL (0952)63-8833（直通）

～ティーンズむけ講演会を開きました～

三日月館



11月13日（日）にドゥイング三日月2階視聴覚室で熊本県在住の作家たつみや章さんをお迎えして「好きを仕事にするには たつみや 章さんと語ろう」というテーマのもと講演をして頂きました。この講演会は、おもに10代の子ども達にむけて、彼らの生きる力を育むきっかけになればと計画したものです。

会場に集まれたみなさんは熱心に、たつみやさんの仕事に対する思いなど、様々な興味深いお話に耳を傾けていらっしゃいました。



クリスマス人形劇

小城館

演目 『ころころパンケーキ』（民話）
『マーシャとくま』（ロシア民話）

公演 人形劇団チャパ
楽しい人形劇が今年もやってきますよ。

さあ、どんなお話かな？

開催 / 12月17日（土曜日）

時間 / 13：00～（整理券配布） 13：45～（開場）
14：00～15：00（公演）

場所 / 小城市民図書館小城館2F 研修室

定員 / 120名

受付方法 / 当日13：00より2F 研修室入り口で整理券配布

※当日、先着順に整理券を配布しますので、電話等での事前の予約は受付けておりません。ご了承ください。

問合せ先 / 小城市民図書館 小城館 ☎71-1131

年賀状コンクール

小城館

毎年みなさまから寄せられる年賀状がとてまたのしみです。今年もたくさん応募してくださいね。

募集期間 / 12月1日（木曜日）～2006年1月15日（日曜日）

※住所・氏名・電話番号を記入して、館内に設置した箱に入れるか、郵送で送ってください。

※ハガキと同じ大きさの用紙でも結構です。館内にも同じ大きさの用紙を用意しています。

※メールでも受け付けております。

（メールアドレス：tosyokan-ogi@city.ogi.lg.jp）

投票期間 / 2006年1月17日（火曜日）～1月29日（日曜日）

※皆様の投票で賞がきます。

発表 / 2006年1月31日（火曜日）～2月5日（日曜日）

問合せ先 / 小城市民図書館 小城館 ☎71-1131

本丸くん 12月巡回表

日時	巡回場所	時間
12/1(木)	小城庁舎	12:05~12:50
〃	小城公民館(桜岡支館)	14:15~15:00
12/2(金)	三日月庁舎	12:05~12:50
12/6(火)	赤れんが館	11:00~11:45
12/7(水)	晴田支館	11:05~11:50
12/8(木)	本告(小城警察署)	13:15~14:00
〃	鳳寿苑	14:20~15:05
12/9(金)	岩松支館	11:00~11:45
12/13(火)	アミジア	14:00~14:45
12/14(水)	牛津庁舎	12:05~12:50
12/15(木)	芦刈保健福祉センター ひまわり	11:10~11:55
12/16(金)	小城保健福祉センター 桜楽館	11:45~12:30
12/20(火)	芦刈庁舎	12:05~12:50
12/21(水)	三里支館	14:00~14:45

冬休みは

としょかんクイズ

小城館

に挑戦しよう!!

冬休みは図書館のサービスカウンターとティーンズコーナーに、クイズの用紙を用意しています。学年によってクイズの内容はちがいます。

クイズの正解者にはステキなプレゼントがありますよ。

クイズの答えと正解者は、図書館掲示板で発表します。

おあめの本



**「東京タワー
~オカンとボクと、
時々、オトン~」**
リリー・フランキー著
扶桑社

イラストレーター、文筆家など、多彩な活躍をしているリリー・フランキーの自伝的小説。著者と、その母親と父親を中心とした家族の物語です。前半は幼い頃のことが描かれており、ユーモアたっぷり、思わず声を出して笑ってしまいます。しかし、高校進学時にオカンと離れて一人暮らしをするあたりから、強烈な感動が押し寄せ、そしてそのまま、最後のページまで感動は止まることなく続きます。この本を読むと、どんな人でも二度と親不孝はできない、と強く思うことでしょう。涙が止まらなくなるので読む場所には、要注意の一冊です。



**「サンタさんから
きたてがみ」**
たんのゆきこ/作
垂石真子/絵
福音館書店

いつもみんなにゆうびんを届けてくれるねずみのゆうびんやさんは、クリスマスの前の日すべってころんでしまい、手紙がみんな雪の上にとびだしてしまいます。

そしてサンタさんからきた手紙が1枚だけあて名が雪でぬれて、ところどころ消えてしまい誰あてだったのかわからなくなってしまいます。でも森のみんなでよく見ると、それは・・・。

たのしいおはなしを聞きに きませんか?

絵本や紙芝居のおはなしと、おりがみ・手遊びなどの楽しい遊びをしています。ご家族やお友達など皆さんで、ぜひおこしてください。

《三日月館 おはなしタイム》

日時：毎週土曜日 午後2:00~2:30

《小城館 おはなしかい》

日時：毎週土曜日 午後2:30~3:00

場所：各館おはなしのへや

12月

~DEC~

と年始の休館日

三日月館 5日(月)・12日(月)・19日(月)・23日(金)
26日(月)・12/28日(水)~1/4(水)

小城館 5日(月)・12日(月)・19日(月)・22日(木)
23日(金)・26日(月)・12/29日(木)~1/5(木)

牛津・芦刈分室 4日(日)・5日(月)・11日(日)
12日(月)・18日(日)・19日(月)・23日(金)・25日(日)
26日(月)・12/28日(水)~1/4(水)

※三日月館と小城館・各分室はお休みの異なります。

ご注意ください。

※年始は、三日月館・牛津・芦刈分室は1/5(木)から、小城館は1/6(金)から開館します。

公民館だより

第1回 小城市民文化祭

小城市民文化祭・文化祭

開催
されました!



文化の秋到来とばかりに小城市では芸能祭・文化祭が市民参加のもと開催されました。

芸能祭（10月23日）では日舞、詩吟、謡曲、民謡、コーラス、吹奏楽と幅広いジャンルで行われ、小学生のコーラスや日舞、民謡などのほほえましい披露に会場から大きな拍手がわきました。また、最後の小城市中学校吹奏楽と社会人の小城ウィンドアンサンブルの合奏は迫力ある演奏で、会場一体となった「ふるさと」の合唱とともに感動のうちに幕を閉じました。

文化祭（11月3日～6日）は皆さんの1年間の集大成を出品していただき、小城公民館全館が多くの作品で彩られました。小学生から大人まで参加するこ

の文化祭は小城市の秋の行事として多くの方に親しまれ、また、今回は文化祭の企画、会場準備、片付け、受付当番と出品者の方に全面的にご協力いただき、本当にありがとうございました。お蔭様で盛会のうちに終了することができました。



【問い合わせ先】 小城市公民館 担当 永ノ間 ☎73-3215

第1回 津の里スポーツ大会前期大会の結果

これまでの牛津町民スポーツ大会を「津の里スポーツ大会」と名称を変更して開催しました。

◎ゲートボール 7/21(木)

《優勝》天満町チーム 《2位》友田チーム
《3位》柿樋瀬チーム

◎柔道 8/28(日)

★幼、1・2年生の部(男女)
《優勝》小谷 陸人 《2位》福地 棕河
★小学3・4年の部(男女)
《優勝》古賀 友基 《2位》福地 翔磨
★小学5・6年の部(女子)
《優勝》永田 望 《2位》永田 睦
★小学5・6年の部(男子)
《優勝》樋口 大樹 《2位》古賀 大嗣

◎空手 9/28(水)

★幼年、小学1・2年
《優勝》梶原 悠司 《2位》島 結夢
★小学3・4年
《優勝》江頭 功平 《2位》鶴丸 賢興
★小学5・6年
《優勝》橋本 健秀 《2位》島 隆聖
★中学生
《優勝》重富 直樹 《2位》久原 文太

◎剣道 9/3(土)

★小学3年以下の部
《優勝》永湊 公子 《2位》中原 直樹
★小学4年の部
《優勝》濱井 太陽 《2位》本村 隆平
★小学5年の部
《優勝》木村健二郎 《2位》永湊 駿輔
★小学6年の部
《優勝》中島 龍 《2位》西村 剛
★中学1年の部(男子)
《優勝》木村 好孝 《2位》津村 泰輝
★中学2年の部(男子)
《優勝》伊東 和樹 《2位》藤田 聖哉
★中学生女子の部
《優勝》麻生 成美 《2位》古賀杏乙梨

◎グラウンドゴルフ 10/30(日)

《優勝》井川 孝 33打
《2位》牧口 新太 40打
《3位》村岡 泰三 41打
※16ホールでの打数です。

★多くの方に参加していただきありがとうございました。後期大会の参加もお待ちしております!

【参加申込・問合せ】
牛津体育協会事務局(牛津公民館内)
担当 野田 ☎63-8813

平成17年度地域子ども教室推進事業<子どもの居場所づくり>

いってきます!



あしがり 通学合宿

ただいま!!

11月14日(月)~19日(土)の5泊6日で、芦刈の小学4年生~中学3年生の40名が芦刈農村環境改善センターで通学合宿を行いました。

通学合宿とは平成11年より始まった事業で、異年齢の仲間と共同生活を体験し、食事・掃除などの日常生活を自分達で行うことで、自らの甘えや依存心をなくし、自立心や社会性を育成し自発的な行動を起こす青少年に成長することを目指して行っています。



制限された予算で1週間分の献立を立て、買い物も自分達です!

ご飯も毎日、子ども達自ら料理し、片付けます!



子ども達自ら使っている施設を毎日清掃します!



【問い合わせ先】 芦刈公民館
担当 江頭 ☎66-1216

三日月町初心者ゴルフ教室



先生の熱のこもった指導

9月12日(月)より11月14日(月)の毎週月曜日に三日月町のグリーンコスモクラブで初心者ゴルフ教室を行いました。

初日にはなかなかうまく打てなかった人も先生の指導のおかげでメキメキと腕をあげ、最終日には見違えるほど上達しました。

【問い合わせ先】
三日月公民館 担当 手島 ☎72-1616



ナイスショット

お知らせ

小城市成人式芦刈会場を変更しました

小城市成人式芦刈会場を芦刈農村環境改善センターから **芦刈文化体育館** に変更しましたのでお知らせします。

ハンセン病療養所入所者等に対する保障金制度について

国では平成13年度から補償金の支給を実施しているところですが、補償金の請求は法の施行から5年以内となっています。請求期限が残すところ一年を切っていますので、該当される方でまだ請求をしていない方は早めに請求をお願いします。

◆**支給対象者** 平成8年3月31日までに国立ハンセン病療養所等に入所されていた者であって、補償法施行日において生存されている者。

◆**請求の期限** 平成18年6月21日（水）

◆**その他**

次の者につきましては、補償金を支給できません。

①既に補償金を受けられている者

②ハンセン病に関する裁判上の和解が成立されている者

◆**問合せ先** 厚生労働省健康局疾病対策課ハンセン病係
☎03-5253-1111

ニューイヤーコンサート

毎年開催している赤れんが館コンサート。今年度はニューイヤーコンサートと題して、九州ジャズ界の雄、井島正男クアルテットを招き開催します。

井島さんは九州のみならず全国で活躍するベーシストで、ジャズボーカリスト金子晴美さんの専属ベーシストとしても活躍。

長崎街道を通じて西洋文化が流れ込んだ町、牛津。そこに花開いた商業文化のシンボル「赤れんが館」とジャズはピッタリはまります。

ぜひ、牛津赤れんが館ニューイヤーコンサートにおいでください。

◆**日時** 平成18年1月14日（土） 18時～

◆**開催場所** 赤れんが館

◆**メンバー**

ベース 井島正男(北九州) <http://www2.odn.ne.jp/m.ijima/>

ピアノ 上野香織(北九州)

ギター 渡辺 汗(博多)

ドラム 成重潤蒔(北九州)

ゲストボーカル 光富美貴(牛津町在住)

◆**チケット** 1000円

◆**連絡先** 赤れんが会事務局携帯
☎080-1722-5910

年賀状の早期差し出し ～年賀状は、12月15日（木）から お引き受けいたします～

年末は郵便物の差し出しが集中するため、年賀状は12月23日（祝）頃までにお出しください。年末押し迫ってお出しになると、元旦に届かない場合があります。

☆年賀状を確実にお届けできるように、住所には「番地」までお書きください。

☆ポストに入れる場合は、①「小城町・三日月町」②「牛津町・芦刈町」③「その他の地域」にわけてください。

☆私製葉書／封書を年賀郵便物として出す場合は、年賀以外の郵便物と区別できるように「年賀」と朱書してください。

◆**問合せ先**

小城郵便局 ☎73-2801

労災保険未加入の事業主に対する 費用徴収制度強化！

労働者を一人でも雇っている事業主は、労災保険の加入が必要です。

今年11月1日から、制度見直しにより労災保険未加入時に労働災害が発生した場合、労災保険から給付を受けた金額の100%又は40%を事業主から徴収することになります。

労災保険未加入の事業主は、早期に労災保険に加入してください。

◆**加入手続き先**

佐賀労働局労災補償課 ☎32-7193

佐賀労働基準監督署 ☎32-7133

牛津庁舎	三日月庁舎	小城庁舎
総務課(市役所 代表電話) 63-8800	社会福祉課 73-8825	市民課 73-8800
秘書広報課 63-8801	高齢障害福祉課 73-8820	税務課 73-8801
財政課 63-8804	児童福祉課 73-8821	国保年金課 73-8802
企画課 63-8803	健康増進課 73-8822	生活環境課 73-8803
情報政策課 63-8807	保健福祉センター課 73-8823	小城庁舎総合窓口課 73-8805
牛津庁舎総合窓口課 63-8802	三日月庁舎総合窓口課 73-8824	教育総務課 73-8806
会計課 63-8805		学校教育課 73-8807
選挙管理委員会事務局 63-8806		生涯学習課 73-8808
議会事務局 63-8810		公民館 73-8810
監査委員事務局 63-8811		文化課 73-8809
		商工観光課 観光係 73-8813
		水道課 73-8804

※「情報いろいろ」への原稿掲載のご依頼は、市報発行日(毎月末)の1カ月前までに秘書広報課へご連絡下さい。ただし、紙面の都合上、掲載致しかねる場合もありますのでご了承下さい。

山の分校で遊ぼう!

「天山自然塾」受講生募集!!

- ◆時間 12月17日(土)午前9時半~午後3時
- ◆場所 小城市立晴田小学校川内分校
- ◆内容 来年のカレンダー作りと野焼き(縄文焼)
- ◆受講料 一般2,000円 小中高生1,000円
- ◆募集定員 50名(定員になり次第締め切ります)
- ◆申込先 久保憲雄 ☎72-2263

日本フィル Do! Do! コンサート

- ◆日時 12月6日(火)午後6時30分開場、7時開演
- ◆場所 ドゥイング三日月
- ◆内容 日本フィル弦楽四重奏
*演奏曲: アイネ・クライネ・ナハトムジーク(モーツァルト) 他
- ◆入場料 一般1,000円 中学生以下500円
- ◆主催 おぎおん(おぎ音楽ネットワーク)
- ◆後援 小城市教育委員会
- ◆問合せ おぎおん事務局 ☎090-7988-2523

Consultation

各種相談

相談名	相談日	場所	時間
健康相談	毎週月曜日	三日月保健福祉センター ゆめりあ	9:30~11:30
		芦刈保健福祉センター ひまわり	
	毎週金曜日	小城保健福祉センター 桜楽館	9:30~11:30
		牛津保健福祉センター アイル	
医師による健康相談	毎週金曜日	小城保健福祉センター 桜楽館	14:00~15:00
行政相談 人権相談	第1火曜日	芦刈保健福祉センター ひまわり	13:30~15:30
	第2木曜日	三日月 農村環境改善センター	13:30~15:30
	第3金曜日	小城 永岡荘	10:00~15:00
	第4水曜日	牛津保健福祉センター アイル	13:30~15:30
年金相談	第3月曜日	牛津庁舎2-6会議室	10:00~15:00
身障者相談	毎月第3金曜日	小城保健福祉センター 桜楽館 相談室	13:30~15:00
	毎月第1月曜日	三日月農村環境改善センター 会議室	9:00~12:00
	毎月第3水曜日	牛津保健福祉センター アイル ボランティアルーム	10:00~12:00
	毎月第3水曜日	芦刈保健福祉センター ひまわり 相談室	9:00~12:00
消費生活相談	毎週水・木曜日	小城庁舎 消費生活相談室	10:00~16:00

小城ウインドアンサンブル ファミリーコンサート

子どもから大人まで楽しめるステージです。ぜひご家族でご来場ください。

- ◆日時 平成17年12月11日(日)
開場13:30 開演14:00
- ◆場所 小城公民館3階大ホール
- ◆入場料 無料
I部: 小城ウインドアンサンブルステージ
小城高校コーラスステージ
II部: 小城ウインド吹奏楽ステージ
- ◆後援 佐賀県吹奏楽連盟
- ◆問合せ先 吉田 ☎090-1929-0075

Wagamachi

よかとこわがまち

九年庵について

神埼町の北端、仁比山神社仁王門をくぐり抜け、坂の参道を上りつめると、その左手には緑の生け垣に囲まれた風雅な葦葺の屋根が見えます。そこが旧伊丹家邸宅、通称九年庵です。この邸宅は、歴史的な由緒をもつのみならず、県内の庭園の中でも特に類例のない特色を有する、佐賀県を代表する文化的遺産といえるでしょう。四季それぞれに美しさがあり、また庭一面に広がるコケはまるで絨毯を敷き詰めたかのようです。

この九年庵は平成7年2月、国の名勝に指定を受けました。

- ◆問合せ先 神埼町 商工観光課
☎52-1111



その他主な市の施設

小城公民館	73-3215	小城市民図書館 三日月館	72-4946	芦刈庁舎	
小城市生涯学習センター(ドゥイング三日月)	72-1616	中林梧竹記念館・歴史資料館	71-1132	農林水産課	63-8820
牛津公民館	63-8813	小城市民病院	73-2161	農村整備課	63-8821
芦刈公民館	66-1216	小城保健福祉センター(桜楽館)	73-7117	商工観光課 商工係	63-8824
小城公民館 桜岡支館	73-3567	三日月保健福祉センター(ゆめりあ)	73-9270	建設課	63-8825
小城公民館 岩松支館	72-4950	牛津保健福祉センター(アイル)	51-5515	都市計画課	63-8826
小城公民館 晴田支館	72-4951	芦刈保健福祉センター(ひまわり)	66-5566	下水道課	63-8827
小城公民館 三里支館	72-4952	小城市児童センター(ゆうゆう三日月)	72-1300	芦刈庁舎総合窓口課	63-8822
小城市民図書館 小城館	71-1131	三日月生きがいデザインサービスセンター(まらら)	72-1611	農業委員会事務局	63-8823

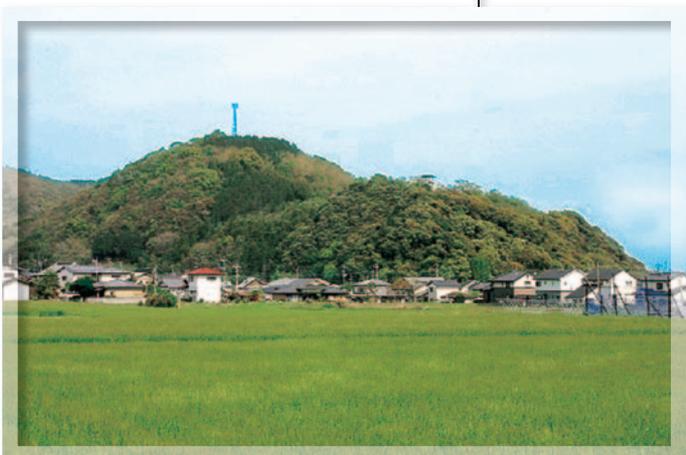
2005

12

第10号

ふるさと
の

風景



シ
リ
ズ
10

中世小城の興り

千葉城（牛頭城）

室町〜戦国時代にかけて肥前国に覇を唱えた肥前千葉氏の居城です。肥前千葉氏は下総国（現在の千葉県北部）を本貫地としていた武士です。鎌倉時代の終わり、蒙古襲来の際に九州に下向し小城に土着しました。以後勢力を広げ、戦国時代には肥前の国主とまで呼ばれました。

市内には千葉氏ゆかりの数多くの史跡・寺社があります。千葉城には現在も堀跡や曲輪跡が残されています。この城を舞台に数多くの戦が繰り広げられました。須賀神社東側の展望台から見下ろす小城の町並にもすばらしいものがあります。

市報 **おぎ** 2005
第10号

小城市代表電話番号 63-8800

発行/小城市 編集/秘書広報課

〒849-0302
佐賀県小城市牛津町柿樋瀬1100番地1
TEL 0952-63-8800 FAX 0952-63-8808
E-mail ● info@city.ogi.lg.jp
U R L ● http://www.city.ogi.lg.jp/



人のうごき

平成17年11月1日現在（前月比）

人口	>>>	47,099人 (+19)
男	>>>	22,405人 (+12)
女	>>>	24,694人 (+7)
世帯数	>>>	14,348戸 (+22)



『市報おぎ』は大豆油インキと100%再生紙を使用しています。